

ものづくりの“心”をつたえる。

平成26年12月期 決算説明会資料

CDS 株式会社

証券コード：2169



平成26年12月期決算

H26年12月期 連結決算の状況

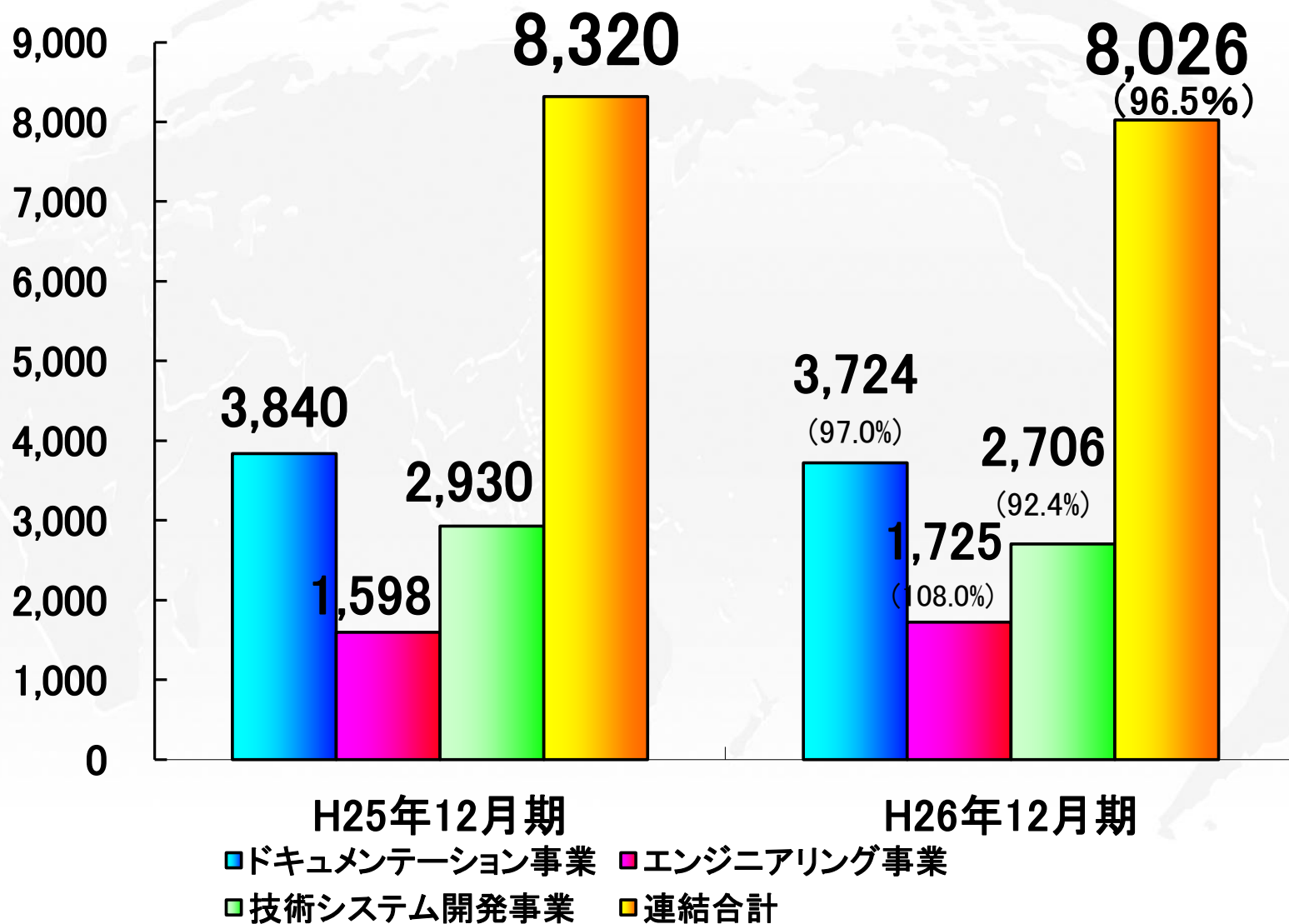
(百万円)

	H25年12月期	H26年12月期	増減(対前年比)
売上高	8,320	8,026	△293 (96.5%)
営業利益	1,044	884	△159 (84.7%)
経常利益	1,042	889	△153 (85.3%)
税引後 当期純利益	443	488	44 (110.0%)

- ・のれん償却…H25年 47百万円、H26年 48百万円。
- ・H25年 信託型従業員持株インセンティブプラン終了 → 分配金を274百万円の特別損失として計上。

連結売上の事業別内訳

(百万円)



カッコ内の数値は対前年比。3

利益の推移

(百万円)

1,400

1,200

1,000

800

600

400

200

0

カッコ内は前年比。

■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期利益

1,044 1,042

884 889
(84.7%) (85.3%)

443

488
(110.0%)

H25年12月期

H26年12月期

- ・のれん償却…H25年 47百万円、H26年 48百万円。
- ・H25年 信託型従業員持株インセンティブプラン終了 → 分配金を274百万円の特別損失として計上。

・FA機器、医療機器の分野での売上は伸長したものの、スマートフォンの機種絞り込み、自動車の車種開発の遅延などが大きく影響。

ドキュメンテーション事業

売上高 3,734百万円(△3.0%) 営業利益 898百万円(△4.9%)

エンジニアリング事業

売上高 1,726百万円(7.9%増) 営業利益 319百万円(△4.8%)

技術システム開発事業

売上高 2,706百万円(△7.6%) 営業利益 205百万円(△26.8%)

平成27年12月期 業績予想

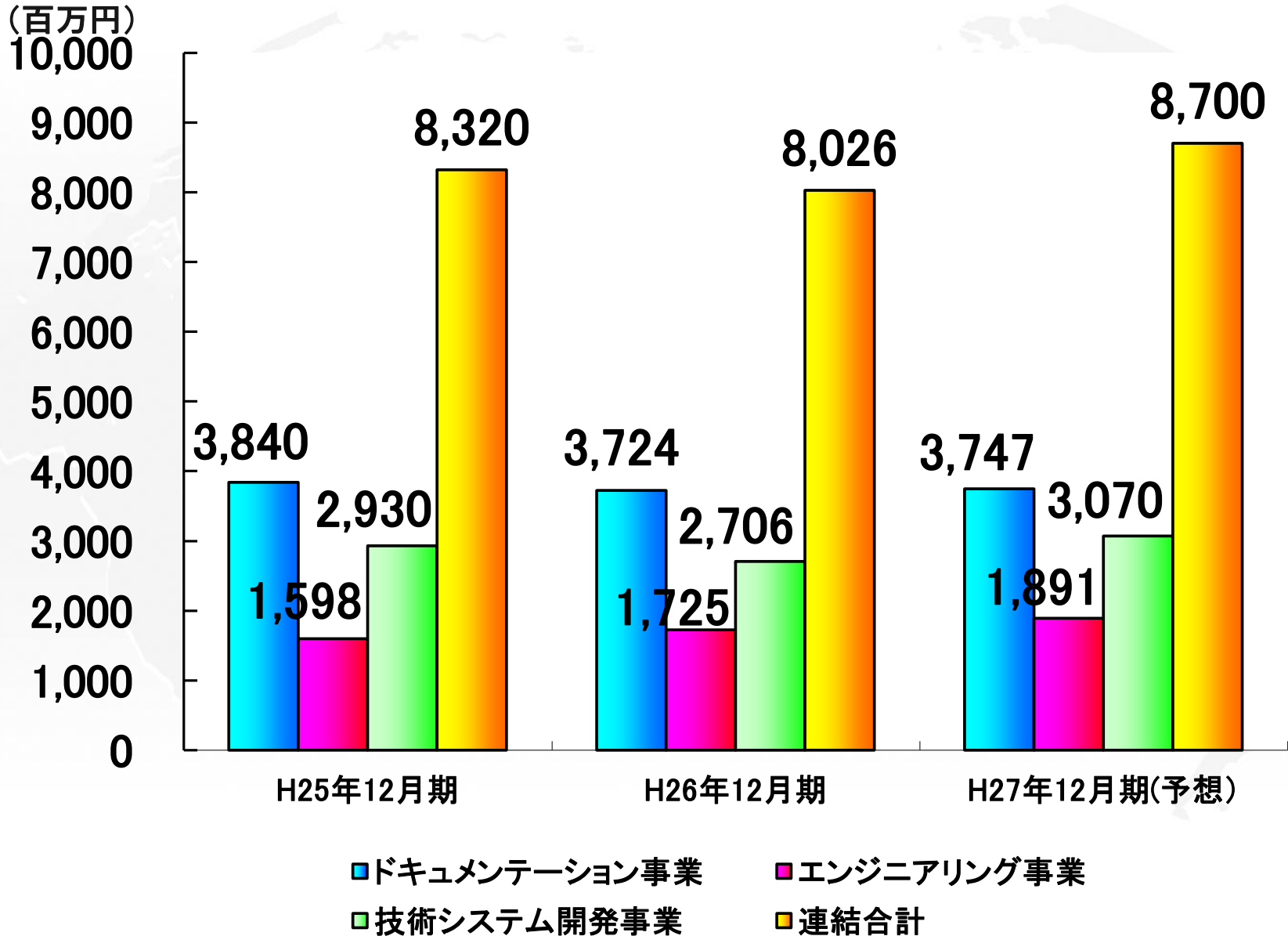
H27年12月期 連結業績予想

(百万円)

	H25年12月期	H26年12月期	H27年12月期 (予想)	増減 (対前年比)
売上高	8,320	8,026	8,700	673 (108.4%)
営業利益	1,044	884	964	79 (109.0%)
経常利益	1,042	889	950	61 (106.9%)
税引後 当期純利益	443	488	530	41 (108.6%)

- ・ のれん償却…H25年 47百万円、 H26年 48百万円、 H27年 48百万円。
- ・ H25年 信託型従業員持株インセンティブプラン終了→分配金を274百万円の特別損失として計上。

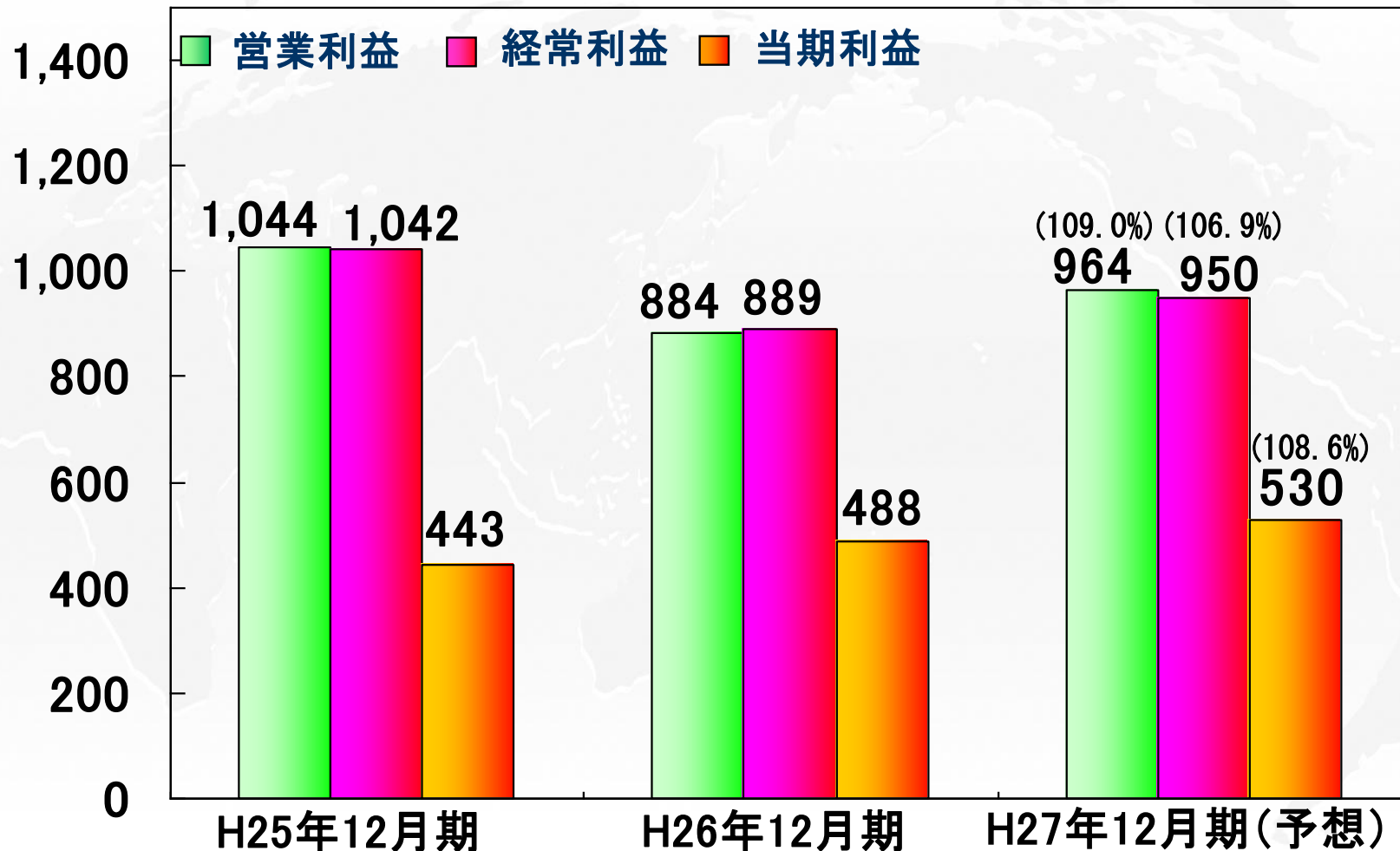
H27年12月期 連結売上の事業別内訳（予想）



利益の推移（予想）

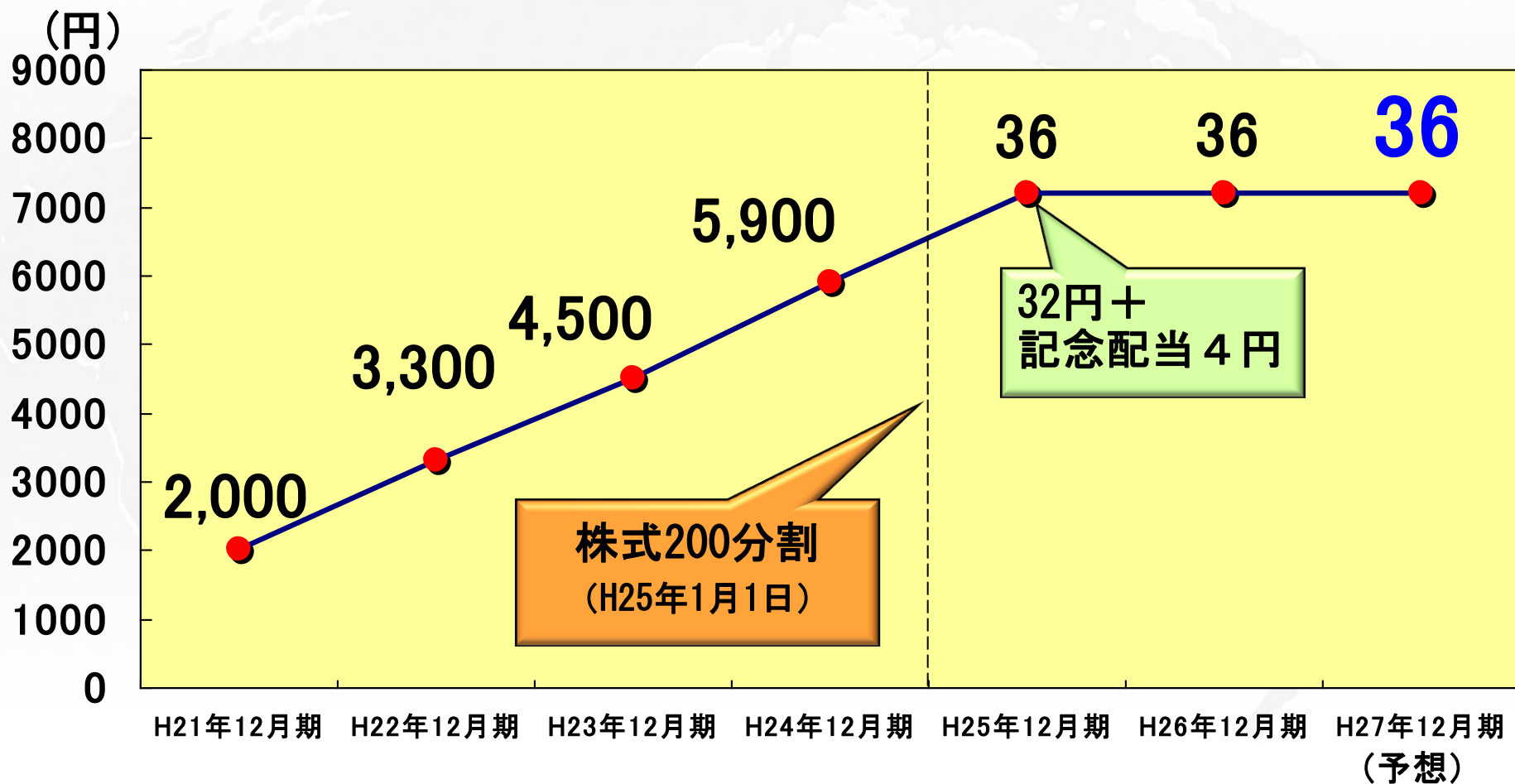
(百万円)

カッコ内は前年比。



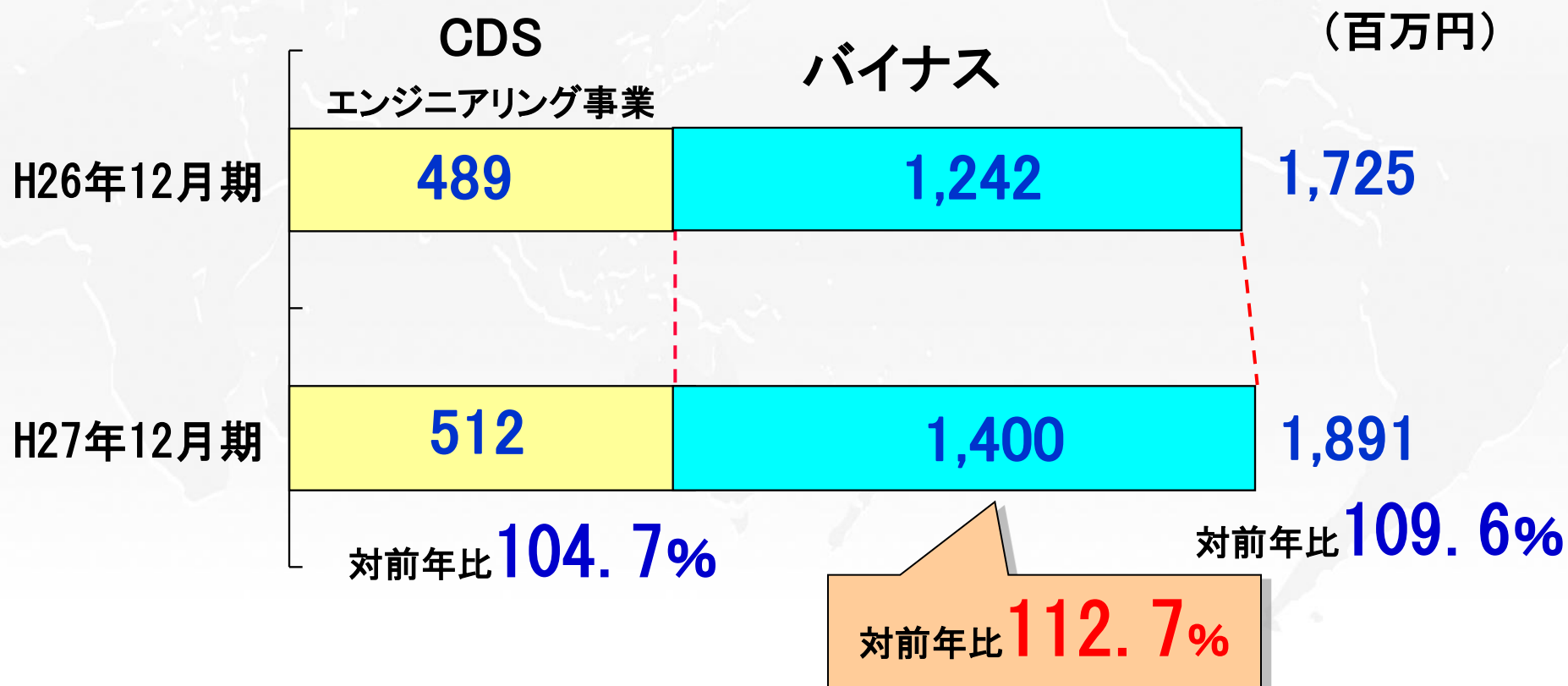
- ・のれん償却 … H25年 47百万円、H26年 48百万円、H27年 48百万円。
- ・H25年 信託型従業員持株インセンティブプラン終了→分配金を274百万円の特別損失として計上。

1株当たり配当金（年間）



バイナスを柱とする事業の再構築

派遣からロボット・FAシステムメーカーへ転換



民間事業

バイナスの成長エンジン

- ・ 食品・機械分野を中心に独自のセル型ロボット・FAシステムを開発・拡販
- ・ 先端ロボット技術で差別化・新規顧客開拓

教育事業

バイナスの収益基盤

- ・ 工業高校、ポリテクセンター、大学から企業内教育までニーズ開拓
- ・ 新商品投入による教育市場の活性化

中核技術 先端ロボット技術

◆自動車業界 品質の向上

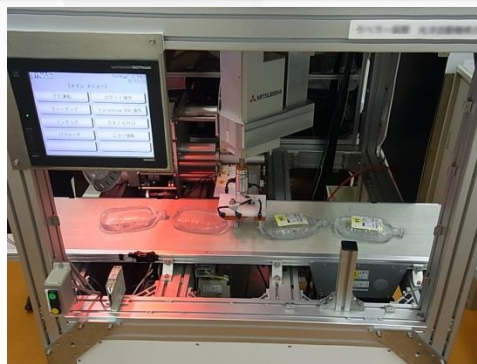


樹脂切断用レーザーロボット

医療用点滴剤容器への
ラベル貼りロボット

- ・ 人間の判断力に依存する作業の自動化
- ・ 品質の向上

◆食品・医薬品業界 単純作業の省人化



Copyright (C) CDS Co., Ltd. All Rights Reserved.

◆機械・電機業界 自動化が難しい工程の ロボット化



検査・加工・組立
多機能ロボットシステム

ロボット、FAシステムの開発、組立部門を拡充、強化





本資料の中で、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報に基づき、当社グループで判断或いは仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や国内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と異なる可能性がある事を申し添えます。